

社協だより



～総合学科の授業を通して、地域のみなさんと花のある町づくりを推進します～



「きれいな花が咲くように大事に育てるね」

「花が咲いたら見に来てね」



細島さくら会(ふれあいいいききサロン)と
門川高等学校総合学科フォレスト系列3年生との交流会

地域支援部門

1. 地域福祉推進基礎組織構築事業 (地域生活支援プロジェクト)

地域住民が地域社会から「孤立」「しない」「させない」仕組みをつくることを目的に、日向市社協職員23名を地域福祉コーディネーターとして配置しました。毎月の大字区ごとの区長会、地区民生委員児童委員定例会へ参加し、地域の実態把握及び連絡調整、生活相談・支援（個別支援）、地域福祉活動を推進するための情報提供、地域福祉活動の企画提案等を継続して行いました。

また、担当地区内で行われる地域のイベントや福祉活動等へ参加し、住民の「声」を直接聴き、地域の実態及び地域の福祉・生活課題の把握に努めました。

地域住民が主体の活動を行うために、住民に対する福祉教育や福祉講座、地域福祉座談会等を実施し、福祉の正しい理解と現在の福祉・生活課題の実態とその解決に向けた住民活動について「考える場」を提供しました。



福祉座談会の実施



地域調査・実態把握

2. 日向市東郷町福祉推進協議会

日向市東郷地域において「地域住民」を主体とした地域福祉活動を推進するために、東郷地域における福祉推進事業に関する計画の立案や研修会等の企画、「日向市福祉推進員」の活動方針について協議する機関です。平成26年度は3回の会議を行い、福祉推進活動の計画・企画及び研修会等について協議を行いました。

3. 日向市福祉推進員事業 ※東郷地域のみに

東郷地域各班に1名の「福祉推進員」を配置し、班内の住民に対する見守り活動を中心とした福祉活動を行いました。住民の生活福祉課題を早期発見、解決に向けた関係機関との連絡調整等の役割を担っています。

平成26年度は、認知症をテーマにした福祉推進員活動に力を入れて取り組みました。



日向市福祉推進員

4. 認知症地域支援体制構築等推進事業

F（福祉）I（医療）T（地域）構想を軸に、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指して、認知症地域支援活動を通じた地域づくりに取り組みました。

[主な取り組み]

- ①日向市認知症地域支援体制推進会議
- ②認知症キャラバン・メイト養成講座
- ③認知症サポーター養成講座
- ④認知症の人にやさしいお店♡事業所
- ⑤第5回日向市認知症フォーラム
- ⑥コミュニティカフェ（認知症カフェ）
- ⑦認知症徘徊模擬訓練への支援・協力
- ⑧傾聴ボランティア（認知症サポーター支援活動実践）



コミュニティカフェ



認知症地域支援体制推進会議



第5回認知症フォーラム
【ふくし劇】



キャラバンメイトの養成

5. 安心カード地域見守り事業

地域において住民が孤立しないために、民生委員児童委員、福祉推進員、地域の住民と連携・協力して安心カードを配布し、地域の見守りシステムの構築に努めました。

6. ボランティア・市民活動センター

ボランティアに関する相談・コーディネートを行い、ボランティア活動の促進とボランティアの人財登録の充実を図りました。また、学校及び地域における福祉教育を展開し、福祉の学びを通して、正しい福祉への理解を図り、「ふだんのくらしをしあわせ」にするために、ふくしを創造し、行動する力を育みました。

[主な活動]

- ・ボランティア相談・コーディネート
 - ・災害ボランティア支援体制構築事業（訓練等の実施）
 - ・ふれあいいきいきサロン（実績：62か所）
 - ・学校における福祉教育の推進
 - ・ふくし学園事業「地域を基盤にした福祉教育の充実」
- ※平成26年度は、大王谷地区、東郷地区で実施



東郷ふくし学園



大王谷ふくし学園

7. 地域福祉情報の発信

本会が実施する社会福祉事業や法人活動の内容や各種福祉情報を集約し、広報誌、ホームページ、フェイスブックを活用して市民への地域福祉情報の発信を行いました。

情報発信（広報誌）

8. 民生委員児童委員活動の推進

日向市からの受託事業として、民生委員児童委員協議会の事務局を担い、民生委員児童委員が活動するにあたり、関係機関との連絡・調整、各種手続きや事務処理を行い、活動しやすい環境づくりに努めました。

各地区の民生委員児童委員からの報告や相談を受け、関係する機関と連携・協働し、地域の問題解決に取り組みました。

9. 社会福祉施設・事業所による地域福祉活動支援 (日向市社会福祉施設等連絡会)

日向市における社会福祉施設や事業所、福祉関係機関とのネットワーク構築を図り、部会活動や研修会等を通して、福祉専門職としての資質向上に努めました。

[主な取組]

- ①あこがれ福祉マン・ウーマンのつどい
 - ②各部会活動
- ※研修会の開催、県外視察研修等を行いました。



あこがれ福祉マン・ウーマンのつどい

10. 地域組織、福祉団体との連携・協働事業

地域の福祉推進組織及びまちづくり協議会との連携をしながら、地域福祉の推進に努めました。

また、福祉人財の育成及び組織化も行い、新たな福祉活動の理解者・活動者を発掘しました。

[主な取組]

- ①まちづくり協議会との連携
- ②日向市地域福祉コーディネーター連絡会の組織・運営（通称：おせつ会）
- ③地域福祉活動企画コンテスト
- ④地域福祉サポーター組織「がむしやら応援団」の結成



おせつ会



地域福祉サポーター組織
がむしやら応援団



第2回地域福祉活動
企画コンテスト

自立支援部門

自立支援部門では、地域住民が抱える個々の生活課題に対して相談を受け付け、課題を解決するために必要な援助を提供することで、本人やその家族が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくことができるよう支援しています。地域の中には誰にも相談できず、一人で思い悩んでいる方がたくさんいます。一人でも多くの方の自立支援に向けて職員一同努めました。

平成26年度の取り組みについて、下記のとおり報告します。



【ふれあい総合相談・生活支援相談】

「どこに相談すればいいのかわからない」「誰かに相談したい」という想いを受け止めるため、生活上のあらゆる困りごとを受け止める窓口を常設しました。

◎平成26年度相談事項件数 **703件**

トップ3	①生計相談	198件
	②高齢者福祉相談	99件
	③職業生業相談	65件

【巡回心配ごと相談】※東郷地区のみ

「相談したいことがあるけど社協まで行けない」という住民のために、相談員が地域に出向いて公民館等で相談を行いました。

◎平成26年度実施地域 **4か所**

(越表地区、田野地区、
仲深地区、福瀬地区)



【出前講座】※東郷地区のみ

地域のふれあいいきいきサロンや高齢者学級等を訪ねて、各種詐欺行為、悪質訪問販売等の実情や地域での見守り活動の大切さ、認知症の正しい理解等についての講話を行い、あわせて地域の困りごとなどの把握に努めました。

◎平成26年度実施件数 **6件**

◎平成26年度参加延人数 **68件**

【日常生活自立支援事業】

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、判断能力の不十分な方が、毎日安心・安全に暮らせるように、福祉サービスの利用の手続きや日常的な金銭管理などのお手伝いを行いました。

◎平成26年度相談・問い合わせ件数 **632件**

◎平成26年度契約利用者数 **87件**

(認知症31、知的22、精神24、その他10)

【生活福祉資金貸付事業・たすけあい資金貸付事業】

相談援助を通して、相談世帯の生活状況などを把握し、必要に応じて資金貸付を行うことによって、その世帯が経済的に自立し、安定した生活が送れるよう努めました。

◎平成26年度実績

◇生活福祉資金貸付事業 **7件**

◇たすけあい資金貸付事業 **51件**

【生活相談・支援センター心から】

平成26年12月より同センターを設置し、経済的困窮や社会的孤立の状態にある方等の相談に応じ、本人が抱える生活課題を解決するための支援計画を立て、自立に向けた支援を行いました。

◎平成26年度相談実績

(平成26年12月～平成27年3月)

126件

【居宅介護支援（高齢者支援）】

介護保険制度に基づき、高齢者が自立した在宅生活を送るために必要な介護サービスが利用できるようケアプランの作成に努めました。

◎平成26年度ケアプラン作成実績

◇日向本所実績 **467件**

◇東郷支所実績 **547件**



【障がい者相談支援(障がい者生活支援センターあしすと)】

障がい児者に対して、本人の自立した生活を支え、本人が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによるきめ細かな支援を行いました。

◎平成26年度相談者延人数 **1,454人**

(身体674、知的401、精神339、
児童130、その他174)

在宅支援部門

1. 介護保険事業

要介護認定を受けた高齢者に対し、利用契約に基づき、以下の介護サービスを提供しました。

- 訪問介護（介護予防訪問介護）
- 訪問入浴介護

2. 障がい福祉サービス事業

障がい者に対して、利用契約に基づき以下の障がい福祉サービスを提供しました。

- 居宅介護 ○同行援護 ○移動支援
- 移動入浴サービス

3. 配食サービス事業

調理が困難な高齢者世帯に対し食事を届け、利用者様の健康維持、食生活の楽しみ、孤立感の解消を図り、在宅での生活を支援しました。また、食事を届ける際には、配達職員が声掛けと健康状態の把握を行い、必要に応じて緊急時の対応や関係機関への連絡を行いました。

4. 家族介護者支援

（日向市在宅介護者の会「思いやりの会」）

在宅で高齢者や障がい者等の介護をする方が参加し、介護者の心身のリフレッシュや家族相互の親睦を図りました。また、関係機関との連携や、被介護者への理解を深めるとともにその家族への援助を行いました。



お知らせ ヘルパー事業一部廃止について



本会が運営してまいりました、介護保険法による訪問介護事業、介護予防事業、日向市からの受託事業である軽度生活援助事業が本年7月31日をもって事業廃止となります

廃止に伴いましては、ご利用者様をはじめ、ご家族様、ケアマネジャーの皆様他、関係者の皆様のご理解とご協力を賜りましたことを、厚く感謝申し上げます。永年にわたりご利用を賜り誠に有難うございました。

また、介護保険の訪問入浴、障がい福祉サービス、東郷支所におけるサービスはこれまで通り継続してまいります。ご理解の程宜しくお願い致します。

総務・財務部門（総務課）

【平成26年度事業実績】

◆法人運営

（理事会6回・評議員会3回・事業検討委員会4回）

◆財政基盤の整備

（社協会員会費7,262,807円・寄付金6,357,790円）

◆各種受託事業管理運営

- ・日向市駅東駐車場管理運営（利用台数5,466台）
- ・日向市老人福祉センター管理運営（4講座実施・来館者12,237名）
- ・平岩ふれあい館管理運営（6講座実施・来館者6,021名）
- ・日知屋児童センター管理運営（28事業実施・来館者14,020名）
- ・大王谷児童館（37事業実施・来館者13,590名）
- ・放課後児童健全育成事業（市内6か所で放課後児童クラブを実施・年間利用児童述べ48,562名）

◆自主事業管理運営

- ・レクリエーション機材貸出事業（125団体）
- ・チャイルドシート貸出事業（134台）
- ・マイクロバス運行事業（139回運行）
- ・日向市総合福祉センター管理運営（来館者10,007名）
- ・日向市東郷地区総合福祉センター管理運営（来館者431名）
- ・屋内清掃事業（2名の障がい者雇用）



◆日向市共同募金委員会の運営

- ・運営委員会、審査委員会の開催（募金活動の検討や助成事業の審査）
- ・赤い羽根共同募金（募金実績6,138,848円）
- ・歳末たすけあい募金（募金実績1,087,000円）



ストレッチ教室講座



児童館での行事



街頭募金活動



地域交流活動助成

平成26年度 一般会計収支決算報告

去る平成27年5月に開催した理事会及び評議員会にて、平成26年度一般会計収支決算が承認されました。社協の決算状況は下記のとおりです。

《収入》

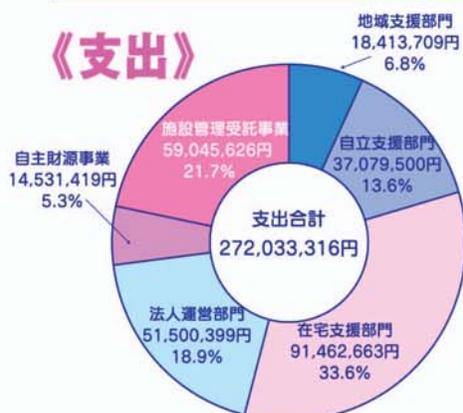


平成26年度の収入は、企業を対象とした福祉賛助会員募集活動や一般会員会費の取り組みにより自主財源が増額しました。補助事業においては昨年度のみ補助事業が終了したことで減額となっていますが、受託事業においては新たなモデル事業の受託により増額となっています。収益事業となる介護保険事業や障がい福祉サービス事業においては、利用者数の減少に伴い大きく収入減額となりました。

結果、経常活動収入においては、自主財源確保やモデル事業受託などでやや増額分はあるものの、介護保険事業を中心ににおいて減額となったため、平成25年度と比較して大きな収入減額となりました。

項目	収入決算額	比率	昨年度比
自主財源（会費、寄付金、利息など）	13,539,172	5.1%	1,060,606
補助金（人件費補助、ふれまち、ボラまちなど）	59,780,000	22.7%	△2,438,500
受託金及び助成金（市、県社協）	93,851,561	35.7%	4,380,473
介護保険事業等収入（障がい福祉サービスを含む）	56,786,583	21.6%	△17,600,750
その他の収入（事業収入・負担金・共同募金配分金など）	33,389,736	12.7%	2,387,520
積立金取崩収入（社会福祉事業基金）	5,790,526	2.2%	△429,728
合計	263,137,578		△12,640,379

《支出》



支出については、上記の収入減額と同様に介護保険事業や障がい福祉サービス事業が中心となる在宅支援部門において大きな減額となりました。利用者数の減少に伴うサービス提供回数の減少に応じて、主に人件費支出が減少したためです。法人運営部門における支出増額は、人件費支出按分の変更により在宅支援部門から支出負担が移動したものです。

法人全体としては、経費削減の取り組みが効果を上げていますが、職員数減に伴い人件費は減額となり、新規事業受託などに伴い事務事業費が増額しています。これは職員1人あたり業務量の増加により負担が増大しているものと判断できます。

項目	支出決算額	比率	昨年度比
地域支援部門（地域福祉推進、ボランティア、認知症事業など）	18,413,709	6.8%	106,693
自立支援部門（総合相談、日常生活、高齢者・障がい者相談支援）	37,079,500	13.6%	△835,432
在宅支援部門（ホームヘルパー派遣、配食サービスなど）	91,462,663	33.6%	△12,783,904
法人運営部門（役員会運営、事務局人件費など）	51,500,399	18.9%	4,678,140
自主財源事業（広報誌発行、マイクロバス運行、機材貸出など）	14,531,419	5.3%	47,208
施設管理受託事業（指定管理事業、福祉センターなど）	59,045,626	21.7%	△1,070,666
合計	272,033,316		△9,857,961

結果、平成26年度収支差額（収入－支出）は△8,895,738円となりました。赤字額については、前年度までの繰越金にて補填を行い、当期末支払資金残高は29,260,645円になります。

平成26年度は、介護保険事業や障がい福祉サービス事業におけるホームヘルプサービス事業について検討委員会を設置し、平成27年度以降における事業方針や収支改善に向けた協議を行ってきました。

今後も人件費・事業費などの必要最低限の経費以外、コスト削減などに取り組むとともに、自主財源（会員制度や寄付金）の増収への取り組みを強化し、継続的収支改善を行っていきます。

夏のボランティア体験 参加者募集!!

児童サポートボランティア

7/13
募集締切

子どもが大好き! 将来、子どもと関わる仕事がしたい!
そんなあなた!! 児童クラブの子どもたちと一緒に夏休みを過ごしませんか??

【どんなことするの?】



学習のサポート

宿題等のサポートをします。
※答えを教えるのではなく、児童と一緒に考えます。



児童との交流
活動時間いっぱい児童と交流してください。

報告作成

活動後は、報告書を作成し、活動を振り返ります。



体験期間	平成27年7月22日(水)~平成27年8月22日(土) 9:00~17:00 ※期間内、体験時間内のうち、活動可能な時間	
体験場所	右記の中から、活動したい場所を選んでお申込みください。	
	日知屋児童クラブ(日知屋児童センター内)	大王谷児童クラブ(大王谷児童館内)
	日知屋東児童クラブ(日知屋東小学校内)	財光寺児童クラブ(財光寺小学校内)
	富高児童クラブ(富高小学校内)	財光寺南児童クラブ(財光寺南小学校内)
	東郷放課後子ども教室	
参加費	300円(ボランティア活動保険料として) ※保険は1度かけていただくと、年度末(平成28年3月31日)まで適用されます。	
参加対象	ボランティアに興味関心のある方。 将来児童関係の仕事に就きたいと考えている中学~大学・専門学校生	

申し込み、詳しい内容についてのお問い合わせは、日向市ボランティア・市民活動センター 担当:五十川まで

ボランティアコーディネーター いそがわの 若い世代に突撃インタビュー!!



今回は、日向市在住の大学生に突撃インタビューをしました。ふくしの専門職をめざし積極的にボランティアに参加する彼女が活動の中で感じた“ボランティア”とは?



松川未来さん
九州保健福祉大学 2年

私の夢・目標 介護と社会福祉士をとって福祉の世界に貢献すること

ギャラリー(昨年度の=コマ)



ボランティアに目覚めたきっかけは何ですか?

小学生の時に初めてボランティアに参加して、
(対象者の方から)「ありがとう」と言われた
ことがとても嬉しかったからです。

あなたにとってボランティアとは?

私にとってボランティアとは、人に笑顔を与える、笑顔にさせることだと思います。
ボランティアに参加することで、いろんな人との出会いや交流があります。その中で、笑顔で接し、笑顔で返された時はとてもうれしいです。
これからも楽しんで、ボランティアに取り組んでいきます。



ふくし活動4コママンガ 「愛を持たせよう」



「愛をもたせよう」は、地域住民の企画から生まれた地域福祉活動です。
朝の通勤前に家の近くや、子どもたちの登校場所に立ち、あいさつをするだけ。子どもたちや地域の方との心のつながりを感じることができるとは、素晴らしい取り組みです。
「朝時間がある」、「子どもたちの笑顔が見たい」、そんな方はぜひ協力をお願いします。
朝から愛のあふれる地域を皆さんで作りましょう。
遅刻と事故にはご注意ください!

すでに地域では広がってます!!
詳しくはP8へGO!

絵:葉さん 内容:五十川

平成26年度は、障がい者施設の行事の手伝いや障がいのある子どもたちとの交流ボランティアなど、多数のボランティアに参加し活躍されました。

今後も地域の若い力を続々紹介していきます!!

日知屋児童センター 電話52-8443

7月30日(木) 『世代間交流』 (小学生・幼児親子)

☆小学生が幼児さんを連れて色んなゲームコーナーを回ってくれます！お魚釣りに輪投げにジャンケン列車などなど盛りだくさん！！世代を超えた交流から、子どもたちの持っている優しさや社会性を再発見することができます！それが子どもたちの自信にもつながりますよ！

時間 10:00~12:00

締切 7月23日(木)



※原町 田中昭子様から、レクリエーション機材を寄贈していただきました。大切に活用させていただきます。ありがとうございました！！

大王谷児童館 電話50-1117

7月30日(木)
「水遊び」(幼児親子)

☆プールで水遊び！！
スイカ割りもあります♪お母さんも挑戦してね！

時間 10:30~11:30



7月31日(金)
「水遊び」(小学生)

☆夏だー！！水遊びを思いっきり楽しもう♪
スイカ割りもあるよ！

時間 14:00~15:30



春の親子レクリエーション 盛大に盛り上がりました！

前年度より内容を新しくしました！

<今年の内容>



今年も楽しくゲームを通して大人も子どもも交流を楽しみ、充実したものになったとおもいます。また来年もこのような交流をしていきます！

わくわく体験教室

日時：7月25日(土)8:40~17:20
場所：熊本県 高森町「高森ツリーハウス」
阿蘇郡産山村「うぶやま牧場」
参加費：無料(お弁当・お茶持参)
対象：小学4~6年生
定員：20名程度*定員を超える応募の場合は抽選になります。
申込方法：大王谷児童館、日知屋児童センター、各児童クラブにある申込書に記入し提出してください。
申込締切：7月18日(土)

☆詳細については直接お電話でお問い合わせください。

急募 児童クラブ代替員

放課後児童クラブでは、児童が夏休みでも安全・安心な遊び場を提供するために、クラブを開設して運営しています。

職員の補助業務や休暇取得時の代替員を下記のとおり募集しています。

期間：7/22(水)~8/25(火)

時間帯：10:00~17:30(7時間半)

内容：職員の補助

(児童の見守り・遊び指導)

謝礼金：1時間当たり800円

末日締め翌月10日払い

応募：履歴書を事務局へ提出

選考：面接

お問い合わせ

総務課 穴谷修志 電話52-2572



発見！地域人！！



富高地区で、毎朝の子どもたちの登校を見守る、「地域人！」を発見!!子ども達の安全と、安心、笑顔を守る為、毎朝数名の地域の方が集まって見守りを行っています。

今年で、7年目になる、見守り、あいさつ運動。

昨年より、社協が取り組む「愛を持たせよう!」は、実は地域にたくさん広がっていました。

富高地区の安全と安心を!明日も笑顔で見守ってください!!



ながむら先生の医学講座 「熱中症に気を付けよう!!」



さあ、暑い夏がやって来ます。「熱中症」の季節です。「熱中症」は気温25度以上、とくに30度以上の初夏や夏日に起こりやすいことは誰もが知っていますが、梅雨期の「熱中症」は油断されがちです。「熱中症」はスポーツやジョギングのような運動だけではなく、**仕事や家庭など、日常生活の場でも起こりえます。**気温だけではなく、湿度や輻射熱(衣類や窓、壁、床などの物体に吸収された熱)も「熱中症」を起こします。

「熱中症」が発症すると、軽症では{めまい}、{頭痛}、{気分不快}などを覚えたりします。中等症から重症になると、{高熱}、{動悸}、{意識障害}などの症状が出現し、「脳機能障害」、「肝機能障害」、「腎機能障害」、「血液凝固障害」などを起こすと**30~40%もの人が死に至る**と云われます。「熱中症」を疑うような場合は、早いうちに医療機関を受診しましょう。状態によっては救急車を呼ぶべきでしょう。まずは予防に備えることが大切です。

【予防のために】

- (1)室内外問わず、暑い環境であることを認識する。
- (2)暑さに体を馴らしておく(急な変化を避ける)
- (3)自分の限界を考慮する(無理をしない)
- (4)服装に気を付ける(通気性よく、輻射熱を防ぐ)
- (5)具合が悪くなったら無理をしない(環境や状況から離れる)

日向市社会福祉協議会 会長 中村恒雄

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略

平成27年5月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
児玉 八千枝	児玉 一男	広見
塩月 秀幸	塩月 ヨシコ	福瀬
岩切 絹代	寺見 洋子	亀崎中
橋本 洋子	橋本 繁	亀崎中
寺原 サツエ	寺原 榮	鶴野内
谷口 ハルエ	谷口 忠富	福瀬
清田 みほ子	清田 巧	切島山1
丸田 スナヲ	丸田 直之	高砂
三樹 和夫	三樹 キヨ子	江良
柏田 修身	柏田 マスノ	往還
松元 トシ子	近藤 ケイ子	広見
西田 純子	西田 ヨシカ	駅通り
小田 忠士	小田 敦子	往還
黒木 匡	黒木 寿美子	切島山1
松木 シズ子	松木 榮	亀崎東
平岡 勇人	平岡 伊勢雄	堀一方
三樹 瑛子	三樹 孝生	曾根

ハートフル6月号において香典返しの欄に「畝原ミツエ」様、「松木 勝」様と掲載しておりましたが、正しくは「畝原ミツエ」様、「松木 優」様です。訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

社協日記

今年度、社協の生活相談支援センター心からの業務が本格実施となり、任意事業である食糧支援事業を5月から実施しています。

事業推進にあたって、市民の皆さんに食品募集を行いました。多くの方から米や缶詰などの食糧を提供していただきました。心温まる支援を大変ありがたく感じています。食品提供は、随時受け付けており、緊急的な生活困窮者の方に支援物資として提供させていただいております。

江戸時代初期の名君と言われる会津藩の保科正之(ほしなまさゆき)は、様々な経済政策や福祉政策を展開しました。正之は、領民を慈しみ、親や子どもを大事にして暮らすことのできる藩政を目指していたといわれます。正之がとった施策は、当時としては画期的なものでした。正確な検地による年貢の減額修正、飢饉に備えた経済政策「社倉制度(米の備蓄)」、90歳以上高齢者への養老扶持(年金)などです。

現代は、飽食の時代とはいえ、日々の食事に困窮している方もいます。「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進」は、社協の使命です。保科正之は、領民が安心して暮らせる藩政を推進しました。いつの時代も慈悲の心や互助の精神は、住民の生活を支えてくれます。食糧支援事業が安心して暮らせる福祉のまちづくりに寄与することを祈念します。

(ひこびー)

【発行者】

社会福祉法人

日向市社会福祉協議会

〔日向市ボランティア・市民活動センター〕

きいちゃん



ひまたん〔日向本所〕

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>

Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

【東郷支所】

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2

日向市東郷地区総合福祉センター

TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274

